フィラデルフィア管弦楽団

The Philadelphia Orchestra

　1900年創設以来、「華麗なるフィラデルフィア・サウンド」と称される独特な響きと聴衆の心をつかむヴィルトゥオージティ、伝統への敬意と革新性の両立によって名声を博してきたアメリカ屈指のオーケストラ。ラフマニノフ「交響的舞曲」の世界初演、マーラー「第8交響曲」のアメリカ初演なども行っている。ストコフスキーやオーマンディ、ムーティ、サヴァリッシュらが音楽監督としてこの名門を率い、現在はヤニック・ネゼ=セガンがその任にある。ニューヨーク・タイムズ紙は「ネゼ=セガンはスコアの隅々まで完全に意のままにし、この卓越した楽団と極めて良好な関係を築いている」と評している。録音も数多く、現在はトリフォノフのピアノによるラフマニノフ「ピアノ協奏曲」全集が進行中。